

# 友の会通信

2012  
Vol.  
**26**

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～

## 体験活動

### 魚・鳥・イカを解剖して脳を探そう

平成23年9月4日(日)

第37回企画展「脳を学ぶ 脳で学ぶ」関連の自然教室が大好評だったことから、友の会ではさらに一步進めた体験活動を行いました。杉山直人先生(博物館学芸係)の丁寧な指導のもと、15名の会員がピンセットやハサミを手に動物を観察しました。解剖に抵抗ある方も多いですが、今回は①大きめの煮干し②犬のエサ用鶏頭水煮③お刺身用イカといった身近なものばかり。体や脳の各器官に直に触れ、その構造を1つ1つ目で確認していく作業はとても貴重な体験でした。さらに茹でたタイなどの脳も観察しました。終了後にお土産として配られた肉厚のイカは、それぞれどんな夕飯に変身したのでしょうか。



#### 【参加者の声】

- ★普段何気に食べているものも、それなりに完成されていると思いました。貝、タコ、ヘビなどに関しても次々に疑問が出てきます。(23-042 三上 金次)
- ★集中して取り組めたので、学校の授業より短く感じました。(23-202 岡野 峻士)
- ★とてもおもしろかったです。また、とてもわかりやすかったです。(23-203 岡野 真士)
- ★説明がわかりやすく、難し過ぎるわけでもないのでもちよほどよかったです。(23-006 倉金 秀行)
- ★何気なく食べていたものに新たな発見がありました。できればもう少しゆっくり、じっくり観察したかったです。(23-007 倉金 由起子)
- ★とてもわかりやすく教えていただいたのでよかったです。もっといろいろなことが知りたかったです。(23-008 倉金 香菜子)
- ★もっとくわしく見たかったので、また参加したいです。(23-010 倉金 遙子)
- ★今まで脳を見たことがなかったので、とてもよい内容だったと思います。(23-030 菅家 淳一)
- ★先生たちがわかりやすく教えてくれたのでよかったです。(23-031 菅家 芳恵)

## 『ミュージアムパーク茨城県自然博物館・筑波宇宙センター』

平成23年11月6日(日)

11月6日(日)、友の会恒例の視察研修会がありました。今年には川原会長をはじめ、44名の参加があり、バスも満席でした。天気は集合時から曇りで、バスは上信越道、関越道と順調に走り、外環道で多少混雑しましたが、大きな遅れもなく目的地茨城県自然博物館に到着。深い森に囲まれた博物館は、落ち着いた雰囲気であらゆる環境でした。館内では宇宙、太陽系・地球の誕生、地球の歴史、生物の進化など、系統を追って説明していただきました。恐竜にも力を入れていると感じましたが、全体として茨城の自然を丁寧に紹介している印象を受けました。



筑波宇宙センターでは、展示された打ち上げ用ロケット、人工衛星の大きさに驚かされました。居住できる人工衛星を打ち上げるのだから当然大きなものと判っていましたが、「百聞は一見に如かず」でした。数十年前、ペンシルロケットからスタートした日本のロケット技術の進歩を実感する研修会でした。後半は雨に打たれましたが、充実した一日でした。

筑波宇宙センターでは、展示された打ち上げ用ロケット、人工衛星の大きさに驚かされました。居住できる人工衛星を打ち上げるのだから当然大きなものと判っていましたが、「百聞は一見に如かず」でした。数十年前、ペンシルロケットからスタートした日本のロケット技術の進歩を実感する研修会でした。後半は雨に打たれましたが、充実した一日でした。

### 【参加者の声】

- ★JAXAの展示物、ロケットの音響体験等、本物に触れることができとてもよかったです。(23-246 田口 賢司)
- ★JAXAには感動しました。子どもたちもすごさに圧倒され、将来は宇宙に関係する仕事をしたいと言っています。貴重な体験でした。(23-247 田口 亜津砂)
- ★去年よりもお弁当のおかずがよかったです。とてもおいしかったです。(23-249 田口 はるな)
- ★一番心に残ったのは、JAXAで音きょう体験をしたことです。ロケットが大好きなので音を聞くことができよかったです。(23-250 田口 康二)
- ★ロケットが発射するところをビデオで見ることができました。すごい迫力でした。(23-251 田口 ありさ)
- ★茨城県自然博物館は、空間を上手に使った立体的展示が見やすくよかったです。JAXAでは、ロケット・人工衛星の大きさに感動しました。(23-017 柳澤 敬一)
- ★JAXAは、個人では行きづらい場所なので、今回行くことができよかったです。(23-145 福島 尚嗣)
- ★とても楽しく参加することができました。(23-146 福島 由紀江)
- ★普段あまり行けない「筑波宇宙センター」、とてもよかったです。(23-147 福島 淳子)
- ★視察する施設の選定が大変よかったです。(23-096 森泉 寿義雄)
- ★JAXA等興味はあったのですが、なかなか行けなかったのが、行くことができよかったです。(23-022 伊藤 さとみ)
- ★自然はくぶつかんでは、水そうのコバンザメがくっついていておもしろかったです。(23-023 伊藤 恭丞)
- ★たのしかったです。しぜんはくぶつかんがたのしかったです。来年行きたいです。(23-024 伊藤 雄慶)
- ★こばんざめがよかったです。(23-025 伊藤 小鈴)
- ★気持ちよく行ってくることができました。(23-077 藤井 剛)
- ★楽しい一日を過ごすことができました。「やや寒し恐竜の歯に触れもして仰天の宇宙センター秋の雨」(23-078 藤井 清久)
- ★子どもたちが積極的に質問したり、ガイドさんが面白いクイズを出してくれたりしたので楽しい車内でした。(23-079 藤井 早苗)
- ★ロケットの音がすごかったです。マンモスがすごかったです。人工衛星のことがよくわかりました。(23-081 藤井 大輔)
- ★初めて参加しました。ガイドツアーなどで説明してもらい大変よかったです。(23-197 石原 侑)
- ★どちらともとても楽しかったです。(23-195 石原口バート)
- ★茨城県自然博物館・筑波宇宙センターに行くことができすごくうれしかったです。(23-196 石原エドワード)
- ★茨城県自然博物館、筑波宇宙センターとも、もっとゆっくり見たかったです。(23-132 小林 基隆)
- ★茨城県自然博物館には初めて行きましたが、展示物が多く、ガイドツアーにも参加することができとても楽しかったです。筑波宇宙センターも大人・子ども共に楽しむことができました。(23-133 小林 典子)
- ★JAXAの「このとり」の大きさにびっくりしました。(23-134 小林 侃暉)

# 私が見つけた自然

友の会会員からのおたより



## 『萩 帰化2種』

斜面の土留め工事後にいろいろな植物の種を吹き付けているのをご存知でしょうか。そんな中に中国など外国の植物の種が使われていたり、いろいろ混ざって入ってきていて帰化植物が生えたりしています。今回はハギ属の帰化種2種を紹介します。

数年前に果穂を見つけ博物館の大森先生からトウクサハギではとアドバイスを受け、花を観察すべく通いました。今年も近くで何個体か確認しています。珍しい植物に出会うのは楽しいですが帰化種というのは…。しかも山の中で、少し考えさせられます。

(23-059 花野 一明)



①オオバメドハギ  
藤岡市の山中工事後の斜面に生えていました。白花で7月末に咲き出します。



②トウクサハギ  
安中市宅地造成地に生えていました。花期は9月、枝が細く枝垂れるように咲きます。紅花の綺麗なハギです。

## 『サボンソウ』

8/26(金)に長野県東御市の池の平湿原で高山植物を堪能した後に、車坂峠に向かう途中の湯の丸高峰林道で咲いていた花です。淡いピンク色の可憐な花でナデシコ科だと思い、家の図鑑で調べましたが該当する花が見つかりませんでした。博物館の大森先生に園芸品種でないことを願いつつ、確認してもらいました。結果は残念ながら園芸品種のナデシコ科の「サボンソウ」とのことでした。

標高約2000mの林道の高地にまで帰化植物が進出しているという事実には正直驚きました。この未舗装の林道沿いには、この時期、コキンレイカ、イワインチンなどの貴重な花々が次々と咲き乱れます。どのようにして種が運ばれたのか定かではありませんが、このまま外来種を放置しておくと、日本の在来種はますます生息域が狭められ、生態系が脅かされ、ひいては絶滅の危機に瀕してしまうでしょう。過去の過ちを繰り返さないためにも、大切な日本古来の自生植物や固有種等の保護を未来永劫、地道に続けていく必要性を改めて感じました。

最後に、震災の被災地の野生動植物に、奇形などの放射線汚染の影響が広がらないことを切に祈ります。(23-004・23-005 吉田 喜代実・るみ子)



## イベント紹介

友の会総会

日時:5月13日(日) 10:00~10:30

場所:学習室

友の会講演会

日時:5月13日(日) 10:45~12:00

講師:長谷川名誉館長

内容:最新研究ナウマンゾウ

場所:学習室



### 第39回企画展

#### 「オシャレな動物たち」

会期:3月17日(土)~5月13日(日)

観覧料:一般 600円

高校・大学生 300円

### 第40回企画展

#### 「深海の生物 - 海底二万里の世界 -」

会期:7月14日(土)~9月2日(日)

観覧料:一般 700円

(予定額)高校・大学生 400円

### 第41回企画展

#### 「キノコとカビのミラクルワールド」

会期:9月22日(土)~11月18日(日)

観覧料:一般 700円

(予定額)高校・大学生 400円

## 友の会入会のお知らせ

### 年会費

- ①一般会員 — 3,000円
- ②高・大学生 — 2,000円
- ③小・中学生 — 1,000円
- ④家族会員 — 5,000円
- ⑤賛助会員(1口) — 10,000円

### 入会特典

- ①博物館入館無料
- ②博物館からの情報配布
- ③友の会行事等への参加
- ④ミュージアムショップでの割引

★現会員の方は、引き続き入会をお願いします。また、お知り合いの方に新規加入をおすすめいただければ幸いです。

## わたしが 募集中 見つけた自然



自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録して、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館友の会へ封書またはメールでお送りください。友の会通信で紹介させていただきます。なお、応募していただいた方全員にオリジナルポストカードを、友の会通信で紹介させていただいた方には素敵な賞品をプレゼントいたします。

## 【博物館利用案内】

開館時間:午前9時30分~午後5時(ただし入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)、年末、その他(博物館ホームページでご確認下さい。)

観覧料:一般500円 高校・大学生300円 中学生以下 無料

企画展開催中は特別料金(上記「イベント紹介」をご覧ください)

※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

## 編集後記

今年度の友の会行事も2月の野鳥観察会を残すのみとなりました。茨城県自然博物館と筑波宇宙センターへの視察研修会には多くの会員が参加してくださいました。特に子ども達の参加が多く、宇宙センター見学ツアーでの子ども達の積極的な行動と目の輝きは実に印象的でした。彼等にはどんな夢が生まれたのでしょうか?友の会の皆様との更なる絆を深めるためにも、今後の行事へのご協力とご参加、友の会通信への投稿を心よりお待ちしております。(友の会通信編集委員 堀越 友子)